

長崎県の美しいまちづくり

小値賀町笛吹編

五

島列島北部にある小値賀島は、大小17の島からなる小値賀諸島の中心です。島の南部、フェリー乗り場から歩いて程近いところに、今回ご紹介する笛吹集落があります。

笛

吹は、かつて捕鯨業で栄えたまち。平成22年3月に、まち全体が県の美しいまちづくり景観資産に登録されました。

細い路地と古い家並みで構成されたこの地区には、捕鯨組織である鯨組などが建立した慰霊塔や地蔵が、まちのいたるところで見られます。この地区の建物の半数近くは、昭和30年代以前に建てられたものです。



明治時代のものが一番多く、これらが今でも現役で使われています。足元に目をやると、昔の石橋が道と一体化するように残されていて、驚くほど昔の姿をそのまま留めていることがわかります。



捕

鯨で財を成した旧小田家住宅（長崎県景観資産2、60号）は現在、小値賀町歴史民俗資料館になっていて、鯨組に関する資料が数多く展示されています。鯨のひげや骨、漁に使われていた漁具や碇石など、数々の充実した所蔵品を見ることができま

歩いてみると、意外に高低差のある集落です。といっても階段が4、5段であったり、ゆるい坂道であったりするので、まちにメリハリを感じます。少し高いところからまちを見下ろすと、また違った印象になります。

地特有の圧迫感と薄暗さ、触れてしまいたいような屋根同士に、底を支えるさまざまなデザインの「持ち送り」と呼ばれる厚い板。この先には何があるのだろうかという好奇心に駆られます。とはいえ、実際に暮らしている人の生活を乱さないよう、そっと静かに探検です。

路

島の途中で感じる音は、ほとんど自然が生み出すものです。風の音と、木の葉がざざめく音、たまに鳥の鳴き声など、驚くほど人工の音は聞こえず、たまに車の音が聞こえてくるくらい。ゆったりとした時間が流れ、自然とここもほぐれていきます。

癒

「癒しの島」小値賀への関心は今年9月には古民家を改装した宿泊施設がオープンし、さらにその魅力を増す小値賀に、どうぞお出かけください！

